

Parani-SD[®]アリング[®]方法

1. DIPスイッチの設定

4 スロットの DIP スイッチによる組み合わせにより、ボーレートおよびハードウェアフロー制御の有無を設定できます。

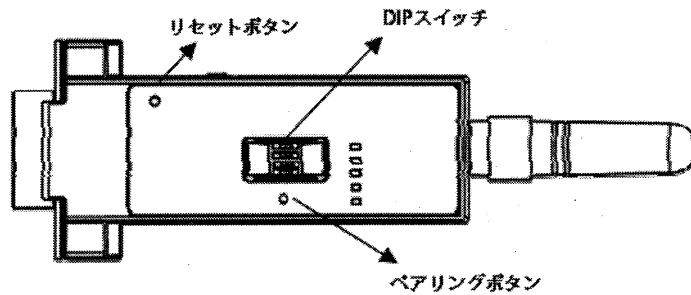


図 1 Parani-SD DIP スイッチ

上 3 段の DIP スイッチは、ボーレートの設定用、最下段の DIP スイッチはハードウェアフロー制御の設定用です。

表 1 DIP スイッチによるボーレート設定

Baud rate	2400	4800	9600	19.2K	38.4K	57.6K	115.2K	S/W Config

表 2 DIP スイッチによるハードウェアフロー制御設定

ハードウェアフロー制御	No Use	Use
ハンドシェーキング		

— で囲った設定にする。

爪楊枝の先等で、ボーレート9600（デフォルトのまま）
ハードウェアフロー制御 ⇒ Use

2 ペアリングボタン

Parani-SDは2台のParani-SD間での自動接続(ペアリング)を設定する場合、PCを使用せずに、ペアリングボタンで簡単に行うことが可能です。次に記述する例の中で1台目のParani-SDをSD1、2台目のParani-SDをSD2という名称で呼びます。

※ AC/DC電源アダプタをParani-SDに接続する。

Step1. あらかじめ近隣にあるParani-SDの電源をオフにしておきます。

Step2. SD1とSD2の電源をオンにし、それぞれのリセットボタンをおしてハードウェアリセットを行ってください。

Step3. SD1のペアリングボタンを2秒間押し続けると、Standby LEDが消え、Connect LEDが2秒毎に3回点滅するようになります。電源はオンのままです。

Step4. SD2のペアリングボタンを2秒間押し続けると、Standby LEDが消え、Connect LEDが2秒毎に3回点滅するようになります。その後、もう一度ペアリングボタンを押し続けると、やがてConnect LEDが0.5秒毎に点滅するようになります。

Step5. SD1とSD2が接続するまで待ちます。するとそれぞれのConnect LEDが緑色に点灯するようになります。この接続には約数秒かかります。周囲にBluetooth機器が動作しているときには、もっと長く時間がかかる場合があります。

Step6. SD1の電源をオフにしてからオンに戻します。Connect LEDが3秒毎に2度点滅するようになります。

Step7. SD2の電源をオフにしてからオンに戻します。Connect LEDが毎秒点滅するようになります。

Step8. これでSD1とSD2はペアリング設定により、いつでも電源をオンにすればお互いを探し、接続するようになります。

Step9. U00379_無線ユニットペア番号シールをParani-SDに貼る。

*注記: ペアリングボタンを使用している時は、Command Response(応答)機能は自動的に停止します。Parani-SDはOK, Connect, Disconnectといった応答メッセージを送らなくなります。

表 3 ペアリングボタンによるペアリングのプロセス

SD1	Status	LED	SD2	Status	LED
1.ハードリセット	Mode0	Standby LED が点灯	1.ハードリセット	Mode0	Standby LED が点灯
2.ペアリングボタン を押す	Mode3	Connect LED が2秒毎に 3回点滅	2.ペアリングボタン を押す	Mode3	Connect LED が2秒毎に 3回点滅
			3.ペアリングボタン を再び押す	Mode1	Connect LED が0.5秒毎 点滅
4.接続完了	スレープ	Connect LED が点灯	4.接続完了	マスター	Connect LED が点灯

Parani-SD100 終息のお知らせと後継製品

お客様各位

【ParaniSD100 終息予定と後継製品のお知らせ】



SD100

平素は、大変お世話になっています。

誠に申し訳ございませんが、パーツ生産中止により、ParaniSD100 の最後の生産は、2009年8月末になります。それ以降、ParaniSD100 の在庫がなくなり次第終息させていただく予定です。なお、後継製品は、ParaniSD1000 となります。

ParaniSD100 終息予定 2009年9月以降（在庫が無くなり次第）

ParaniSD100 後継製品 ParaniSD1000



SD1000

(備考)

- ・ ParaniSD100 と同機能モデル ParaniSD1000(製品番号 0402030)は同じ機能です。
- ・ ParaniSD100 が持つ通信機能は、後継製品 ParaniSD1000 も持っています。
- ・ ParaniSD100 と後継製品 ParaniSD1000 との通信は可能です。
- ・ ParaniSD100, ParaniSD1000 の DB9 仕様は同じです。
- ・ ParaniSD100 および ParaniSD1000 は同じ AT コマンドに対応しています。
- ・ ParaniSD100 のアンテナネジ回し方向は、ParaniSD1000 と逆方向となります。併用は出来ません。
- ・ ParaniSD1000 には専用のアクセサリがございます。
- ・ ParaniSD200 (Class2)モデルの終息予定はございません。

(備考)

1) ParaniSD1000(製品番号 0402030)

ParaniSD100 と同等構成と同等機能

2) ParaniSD1000-BP03 (製品番号 0402033)

リチウムイオン電池一体型モデル

ParaniSD1000 詳細は、

http://intersolutionmarketing.jp/products/parani_sd.html

製品の移行にあたり、ユーザー様にできるだけご迷惑がかからないように進めてまいりたいと思います。ご不明点、ご質問等ございましたら、お知らせくださいますようお願い申し上げます。

株式会社インターソリューションマーケティング

〒150-0013

東京都恵比寿 1-24-14 EXOS 恵比寿ビル 5F

Phone: 03-5795-2685 Fax: 03-5795-2686

Mail: info@intersolutionmarketing.com

Web: <http://www.intersolutionmarketing.com>